

第91回 実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、小原久美子さんにご紹介いただいたこの方は「デザインなどで曾於市を応援しているスゴイ人」とのこと。



クリエイティブディレクター
とく いし こう ま
徳石光磨さん



今回は、財部町にお住まいでロゴ・チラシ・ポスターなどのデザインをしている、徳石光磨さんに話を伺ってきました。

「子どもの頃から絵を描くことが大好きで、鹿児島市のグラフィックデザインの専門学校に進学しました」卒業後は1年ほど会社に勤め、その後フリーランスとして活動。27歳の時に東京に拠点を移しましたが、体調を崩してしまい、約6年前に財部へ帰ってきた徳石さん。それからフリーパー『FREE』の制作を始めました。



「人と話すことが苦手で営業活動ができませんでした。そこで営業の代わりに趣味も兼ねて、自費でフリーパーの制作を始めました。」

「フリーパーの制作を始めました」『FREE』は4年目を迎え、14号目。取材するのは、おもしろいヒト・モノ・コト。これからも楽しみながら作り続けていきたいと話します。

一方で、イベントの空間創りも手掛けています。今年5月に子どもたちが遊ぶためのイベント『そそマルシェ』を開催しました。子どもが自分たちだけで考えて出店するエリアを用意したり、本物さながらの免許証作りや、写真を使った神経衰弱なども企画しました。そそのイベントは、今後も開催予定です。

今年から肩書きを「クリエイティブディレクター」にしたいという徳石さん。今までは、デザイン・写真撮影・コピーライティングなど、すべて一人でこなしてきました。これからは

仕事を統括し作業を割り振ることで、自分がやりたいことをより多くしていきたいそう。

「現在の活動は遊びの延長線上。自分が楽しいことを求めて、忙しくて今は描けていなかった絵や、新しいプロジェクトを進めていきたいです」と話してくれました。



最新情報は
Instagram から

